

第23回「震災対策技術展」横浜

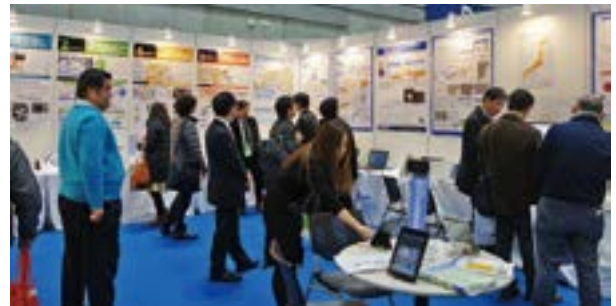
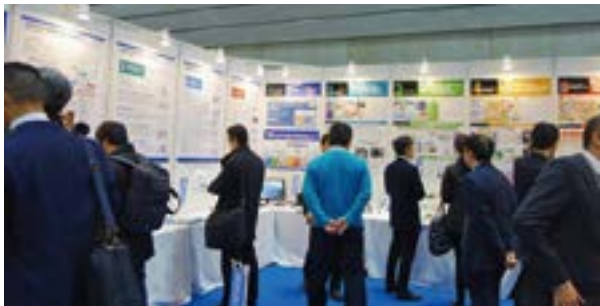
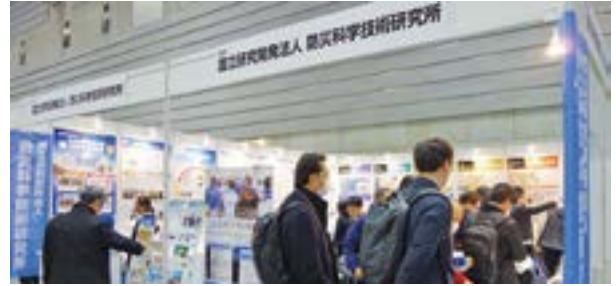
2月7日(木)～8日(金)にパシフィコ横浜で「第23回『震災対策技術展』横浜」が開催されました。防災科研はセミナーとブース出展を行いました。

セミナーでは、「平成30年に続発した災害が示唆すること」と題し、林春男理事長が講演を行い、多くの方が聴講されました。

ブース出展では、レジリエント防災・減災研究推

進センター、気象災害軽減イノベーションセンター、首都圏レジリエンス研究センターの取り組みや社会防災システム研究部門からSNS情報を用いた自然災害の状況把握技術、地震ハザードステーション等を紹介しました。

2日間で19,051名の来場者を数え、多くの方に防災科研の取り組みを紹介することができました。

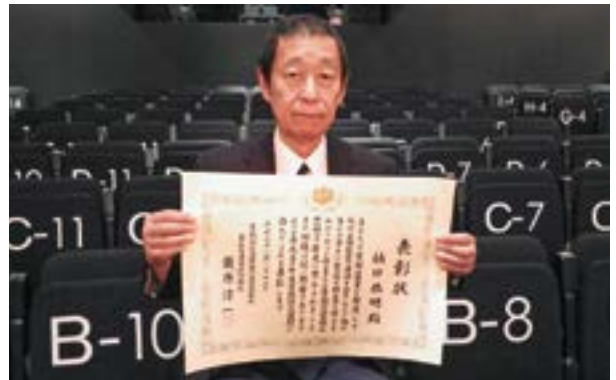


平成30年度雪崩災害防止功労者表彰

企画部広報課の納口恭明専門職が、実験装置を駆使して科学実験教室の講師を永年にわたり務め、多くの方々に雪崩現象や怖さをわかりやすく伝えるなど雪崩災害防止思想の普及に貢献したとして、平成30年度雪崩災害防止功労者として表彰されました。

納口専門職は「本来は雪崩災害防止のために、雪崩に遭う可能性のある人に、その怖さと対処の仕方をお

教えするのが直接的な雪崩災害防止教育です。しかし、その一方で、雪崩の持つ不思議さや自然の迫力を、ごく一般の皆さまに楽しくお伝えするのも、雪崩災害防止教育の底辺を広げるという意味で、不可欠のものと考えます。自然の怖さと楽しさを同時に学んでいただければ幸いです」と語っています。



2018年活断層フォトコンテストで優秀賞を受賞

社会防災システム研究部門の郝憲生主幹研究員が、2018年活断層フォトコンテストで優秀賞を受賞しました。

活断層フォトコンテストは、活断層に関する科学教育、防災教育、地域振興などに資することを目的として、日本活断層学会が実施しているもので、今回で9回目となります。郝主幹研究員の応募写真は「コーンフィールドに壁が立つ」と題した2008年5月に中国四川省北川県播鼓鎮石岩村で撮影したもので、地

震断層が安昌河の河岸段丘、平らなトウモロコシ畑と山を横切っている様子が写っています。この写真が学会の審査会で高く評価され今回の受賞となりました。



つくば本所

入場無料

一般公開

詳細はこちら

www.bosai.go.jp



平成31年

4/21

10:00-16:00



公共交通機関をご利用ください *駐車場、駐輪場あり

- TXつくば駅 つくバス北部シャトル「筑波山口」行き乗車「花畑」下車 徒歩3分
- 駐車場に限りがありますので、なるべくお乗り合わせのうえ、お越しく下さい

防災科研ニュース

2019 No.204

2019年3月29日発行

●防災科研ニュースは Web でもご覧いただけます

発行



国立研究開発法人 防災科学技術研究所

〒305-0006 茨城県つくば市天王台 3-1 企画部広報課
TEL.029-863-7768 FAX.029-863-7699

URL : <http://www.bosai.go.jp/> e-mail : k-news@bosai.go.jp